

セミナー参加のご案内

謹啓 このたびの東日本大震災で被災された皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに亡くなられました方々に衷心より弔意を表します。

さて、20年以上前より“在宅医療”について考え、未来を見据えた活動を行なって参りました本学会の第22回大会長を勤めさせていただくことになり、大変光栄に存じております。学術集会は平成23年6月25日土曜日より2日間に渡り、COP-10などの国際集会も開催されました名古屋国際会議場で開催させていただくべく、教室員ならびに同門とともに準備を進めております。今回学術集会のテーマを“医の原点から見た在宅医療”といたしました。大震災時における医療活動はまさに医の原点に通じるものであり、今回は「東北関東大震災に対する学会の役割」と題した緊急討論を企画しました。在宅医療にかかわるさまざまな職種に携わる関係者が、どのように協調できるかを考え、討議し、本学術集会を契機に、さらにすすんだ在宅での医療を提供するとともに、提供する側にも達成感や喜びを獲られるように、今後の在宅医療の発展に寄与できる大会にしたいと考えております。学術集会へ多数の演題応募をいただき、誠に有り難うございました。予想を上回る応募数に関係者一同、心から感謝致してしております。

本年も例年同様、セミナーを予定しております。今回は「外来化学療法セミナー」と「在宅緩和ケアセミナー」の2つのセミナーを設けております。こちらへの参加もよろしくお願ひ申し上げます。これらのセミナーは下記単位認定の対象となります。

- 医師 「日本医師会」生涯教育講座の対象学会です
- 看護師 「認定看護師更新審査」の自己研鑽ポイントの対象となります
- 薬剤師 日本薬剤師研修センター「研修認定薬剤師制度」の単位取得研修として認定されております

まだセミナー参加に余裕がございます。お誘い合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

詳細は第22回日本在宅医療学会学術集会 <http://www.congre.co.jp/jshm2011/>をご覧ください。

謹白

第22回日本在宅医療学会学術集会

大会長 竹山廣光

(名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器外科 教授)



医師・看護師・薬剤師のための外来化学療法実践セミナー in 名古屋 2011

テーマ：外来化学療法における副作用対策

日時 2010年6月26日(日) 9:25～15:30 *開場9:00

会場 名古屋国際会議場 白鳥ホール

収容人数 800名

参加費用： 会員 2,000円、非会員 5,000円、学生 1,000円 (すべて事前登録)

テキストは、学会員・非学会員ともに別売りとなります。1冊1,000円です。

(セミナー当日にご購入ください)

9:00 開場

9:25 開会の挨拶 第22回日本在宅医療学会大会長 竹山廣光先生
(名古屋市立大学 消化器外科 教授)

9:30-10:50 司会 高橋慶一先生 (がん・感染症センター都立駒込病院 外科)

● 化学療法の最近の進歩

- ① 泌尿器癌 河合憲康先生 (名古屋市立大学 泌尿器科)
- ② 悪性リンパ腫 木下朝博先生 (名古屋大学 血液・腫瘍内科学)

休憩 (10分)

11:00-11:45 司会 蘆野吉和先生 (十和田市立中央病院)

- 抗癌剤の副作用を理解する (1) <一般的な副作用とその治療>
一般的な副作用とその対策 (口内炎、食欲不振、嘔吐、下痢、脱毛、好中球減少など)
瀧内比呂也先生 (大阪医科大学 化学療法センター)

休憩 (15分)

12:00-12:50 司会 柵山年和先生 (東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科)

- ランチョンセミナー
チーム医療としての化学療法の実践
辻 晃仁先生 (高知医療センター 腫瘍内科)

休憩 (10分)

13:00-13:50 司会 大谷剛正先生 (相模台病院)

- 抗癌剤の副抗作用を理解する (2) <特殊な副作用とその治療>
① 高血圧症、皮膚障害、末梢神経障害対策の実際
室 圭先生 (愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部)

休憩 (10分)

14:00-15:25 司会 高橋慶一先生 (がん・感染症センター都立駒込病院 外科)

- 抗癌剤の副抗作用を理解する (3) <特殊な副作用とその治療>

- ② がんと血栓症およびその対策 池田正孝先生 (大阪大学 消化器外科)
③ 心・肺合併症対策 柵山年和先生 (東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科)

15:25-15:30 閉会の挨拶 日本在宅医療学会 理事長 城谷典保先生
(東京女子医科大学八千代医療センター 外科 教授)

申し込み方法及び参加費支払い方

氏名、連絡先住所、所属、メールアドレス、在宅医療学会会員の方は会員番号を記載の上
zaitaku@med.nagoya-cu.ac.jp
あてに下記を参考にメールをお送りください。

メール送信時の件名 (題名) 化学療法セミナー申し込み

内容 氏名:
所属:
連絡先住所:
メールアドレス:
会員番号 (在宅医療学会会員のみ):

参加費は郵便振替にて下記口座へお支払いください。

口座番号 00810-0-121933

口座名義 外来化学療法セミナー (ガイライカガクリョウホウセミナー)

メールでのお申し込み後 5 日以内に郵便局備付の振込用紙に

氏名、所属、メールアドレス、連絡先住所、会員番号 (在宅医療学会会員のみ) を記入の上、
郵便貯金窓口にて参加費をお振込みください。

尚、振込手数料はお申込者のご負担となります。

入金確認後、順次メールにて受講票を送付します。当日会場入り口にてご提示ください。

* 在宅緩和ケアセミナーと両方お申込される場合は、それぞれの振込み先口座が違います
のでご注意ください。

* 1 度振り込まれますと欠席などでの返却には応じかねる場合がございますのでご注意
ください。

連絡先

学会本部 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1
名古屋市立大学 消化器外科
tel 052-853-8226 fax 052-842-3906

運営担当 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-13 栄第一生命ビルディング
株式会社コングレ
tel 052-950-3369 fax 052-950-3370

医師・看護師・薬剤師のための
外来化学療法実践セミナー
in 名古屋 2011

テーマ：外来化学療法における副作用対策

日 時：2011年6月26日（日）

会 場：名古屋国際会議場 白鳥ホール （定員 800名）

参加費用：会員 2,000円 非会員 5,000円 （すべて事前登録）

開会の挨拶 第22回日本在宅医療学会 会長 竹山 廣光 先生(名古屋市立大学医学部 消化器外科)

化学療法の最近の進歩 司会 高橋 慶一 先生(がん・感染症センター都立駒込病院 外科)

1. 泌尿器癌 河合 憲康 先生 (名古屋市立大学医学部 泌尿器科)
2. 悪性リンパ腫 木下 朝博 先生 (名古屋大学 血液・腫瘍内科学)

抗癌剤の副作用を理解するⅠ〈一般的な副作用とその治療〉 司会 蘆野 吉和 先生(十和田市立中央病院)

一般的な副作用とその対策 (口内炎、食欲不振、嘔吐、下痢、脱毛、好中球減少など)
瀧内 比呂也 先生(大阪医科大学 化学療法センター)

ランチョンセミナー 司会 柵山 年和 先生(東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科)

チーム医療としての化学療法の実践 辻 晃仁 先生(高知医療センター 腫瘍内科)

抗癌剤の副作用を理解するⅡ〈特殊な副作用とその治療〉 司会 大谷 剛正 先生(相模台病院)

高血圧症、皮膚障害、末梢神経障害対策の実際
室 圭 先生(愛知県がんセンター中央病院 薬物療法部)

抗癌剤の副作用を理解するⅢ〈特殊な副作用とその治療〉 司会 高橋 慶一 先生(都立駒込病院)

1. 癌と血栓症およびその対策 池田 正孝 先生(大阪大学医学部 消化器外科)
2. 心・肺合併症対策 柵山 年和 先生(東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科)

閉会の挨拶 日本在宅医療学会 理事長 城谷 典保 先生(東京女子医科大学八千代医療センター 外科)

問い合わせ先：運営事務局 株式会社コングレ

TEL. 052-950-3369 FAX. 052-950-3370

E-mail: jsh2011@congre.co.jp